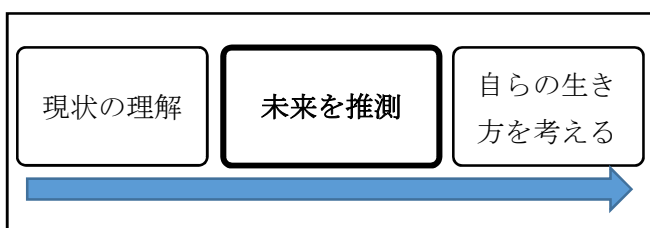




学校データ  
 【学級数】  
 12学級  
 【児童生徒数】  
 327人  
 【地域コーディネーターの有無】  
有 無

## 未来を推測し、自らの生き方を考える力の育成

### 1 はじめに



資質・能力として、もっとも大切にしたのは「未来を推測する力の育成」です。

予測困難な時代とはいえ、現状を学習することで、近い未来を推測することはできます。そんな近未来を推測する中で、これからの時代を生きていく中学生が自らの生き方を考えられる学習です。

### 2 取組の実際

「That's 未来ず 4」に「地域教育プログラムを見直す4つのポイント」が示されています。

この4つのポイントで小新中学校の実践をまとめました。

#### (1) 総合的な学習を核として ○

- |    |           |
|----|-----------|
| 1年 | 地域防災・地域福祉 |
| 2年 | 職業体験・修学旅行 |
| 3年 | まちづくり     |

現状の理解から学習を始めます。未来を推測する際に、超高齢化社会を迎える日本において、「防災」と「福祉」は、今後もっとも注目すべきテーマと考えました。

#### (2) 地域・社会とともに創り、学ぶ ○

##### ① 1年：地域防災

地元の防災士の方から防災に関する基本的な知識を学習しました。その後、地域の方と一緒にDIG（災害想像力ゲーム）で災害が起きた時のシミュレーションを図上で行いました。



【DIG：災害想像力ゲーム】

##### ② 1年：地域福祉

地域の福祉施設で2日間の勤労体験を実施します。そこで体験したことをもとに社会福祉協議会の方から小新地区の現状を学びました。



【福祉施設で勤労体験】

### ③ 3年：まちづくり

新潟市の高齢化の実態を学んだあと、小新地区で何ができるかを考えました。その際、地域の方にも一緒にファシリテーションに参加してもらいました。



【これからの小新を考える】

### (3) 地域をグローバルな存在として △

#### ① 2年：修学旅行

1年生で学んで防災に関する学習をもとに神戸の震災現場を見学し、小新地区と比較して考えました。



【神戸震災パークで調査】

### (4) 生きて働く資質・能力の育成 ○

#### ① 2年職業体験

今まで力を発揮できなかった生徒が、体験先で認められることで、自らの生き方を考えるきっかけになっていました。



【ホームセンターで職業体験】

### ② 3年：まちづくり

西区地域課の協力を得て、「10年後の小新について」で未来を推測し「小新が『支え合いのある地域』になるために中学生ができること」を地域の方と一緒に考えることは、「未来を推測し、自らの生き方を考える力」につながる学習となりました。



【話し合いのまとめ】

### 3 成果と課題及び本実践で育成された資質・能力

育成したい資質・能力を「未来を推測し、自らの生き方を考える力」として取り組んだ成果は、3年のまちづくりの学習の内容から読み取ることができます。

例、〈なんでもし隊の取組提案〉

お年寄りが困っていることがわかったので、雪かき、ゴミ捨て、草取りなど、これからの時代、中学生でも地域に貢献できることがあるのではないかと。

限られた地域の範囲ですが、現状を知り、未来を推測し、自分たちができることを考えることができました。

### 4 おわりに

令和2年度は「グローバル」「未来につながる」という視点を重視して、3年の学習テーマをまちづくりから「ロボット」に変更します。1、2年生の学びを生かし、福祉支援ロボットや防災支援ロボットについて学習する予定です。